

令和7年産主食用米の「作付の目安」について

令和6年12月19日
宮崎県農業再生協議会

1 趣 旨

県再生協では、農業者に自らの経営判断による需要に応じた生産の参考としてもらうため、国の需給見通し等の情報や県内における需要動向等を基に作成した、市町村等への主食用米の「作付の目安」を提示する。

これまで、平成29年に用いられた全国シェア1.2463%（平成27年から固定）を根拠に算出してきたが、作付実績が目安を大きく下回る状態が続いていることから、今年度から算出方法を見直した。

2 見直しの方向性

「全国シェア」を用いた算出から「前年の作付実績に県独自の需要見通しを加算」する算出法に変更し、新たに需給情報を提供。将来的には需給情報の提供のみとしていく。

3 具体的な算出方法

本県の昨年度作付実績に県独自の需要見通し（県内消費量、集荷業者や卸業者の需要動向等）を総合的に判断し算出する。

- | | | | | |
|---|------------------------|----------|---|-----------------------|
| ① | 宮崎県の令和6年産作付実績 | (数量) | : | 60,800 トン |
| ② | 〃 | (面積) | : | 12,400 ha |
| ③ | 県独自の需要の見通し加算 | (数量) | : | 6,700 トン |
| ④ | ③を平年単収496kg/10aで換算した面積 | | : | 1,400 ha (≒ 1,351 ha) |
| ⑤ | 令和7年産作付の目安 | (数量=①+③) | : | 67,500 トン |
| | | (面積=②+④) | : | 13,800 ha |

(参考)令和6年産と7年産の目安の変化

	令和6年産	令和7年産
数量	84,255 トン	67,500 トン (▲16,755 トン)
面積	16,987 ha	13,800 ha (▲3,187 ha)

4 市町村別「作付の目安」の算出及び需給情報の提供

市町村別の「作付の目安（面積）」については、引き続き、前年産の市町村別作付実績面積のシェアを用い算出した。算出結果は「別紙1」のとおり。

また、今年度より、生産者に向けた情報発信の参考として、国や県の需給関連情報を「別紙2」により提供する。

5 「作付の目安」提示に向けた協議・今後の予定

- | | |
|------------|------------------------------|
| 令和6年11月13日 | 宮崎県農業再生協議会水田営農推進部会による協議(参考値) |
| 11月27日 | 地域農業再生協議会担当者会議における参考値の説明 |
| 12月10日 | 宮崎県農業再生協議会事務局員会 |
| 12月11日 | 宮崎県農業再生協議会幹事会 |
| 12月19日 | 宮崎県農業再生協議会総会 (参考値→確定値) |

令和7年産主食用米の「作付の目安」について

(ha、%)

地域 協議会名	市町村名	作付実績※ 令和6年 (ア)	【参考】		作付実績シェア 令和6年 (ウ)=(ア)/12,283ha	作付の目安 令和7年 (エ)=13,800ha×(ウ)	実績差 (ハ) (オ)=(エ)-(ア)	前年目安とR7目安の比較		
			(5年産) (イ)	増減 (ア)-(イ)				作付の目安 令和6年 (カ)	前年目安 との差 (キ)=(カ)-(エ)	前年作付 目安比率 (ク)=(カ)/(エ)*100
宮崎中央	宮崎市	1,858	1,948	▲ 90	15.1	2,087	229	2,576	▲ 488	81%
	国富町	322	343	▲ 21	2.6	362	40	453	▲ 91	80%
綾町	綾町	80	85	▲ 5	0.7	90	10	116	▲ 26	78%
日南市	日南市	582	605	▲ 23	4.7	654	72	822	▲ 168	80%
串間市	串間市	506	525	▲ 19	4.1	568	62	712	▲ 143	80%
都城市	都城市	2,040	2,113	▲ 73	16.6	2,292	252	2,867	▲ 575	80%
三股町	三股町	272	272	▲ 0	2.2	306	34	369	▲ 64	83%
小林市	小林市	753	828	▲ 75	6.1	846	93	1,124	▲ 278	75%
高原町	高原町	272	250	22	2.2	306	34	339	▲ 34	90%
えびの市	えびの市	1,070	1,120	▲ 50	8.7	1,202	132	1,520	▲ 318	79%
西都市	西都市	791	813	▲ 22	6.4	889	98	1,103	▲ 214	81%
西米良村	西米良村	20	21	▲ 1	0.2	22	2	28	▲ 6	79%
高鍋町	高鍋町	246	244	2	2.0	276	30	332	▲ 55	83%
新富町	新富町	416	338	78	3.4	467	51	459	9	102%
木城町	木城町	158	160	▲ 2	1.3	178	20	217	▲ 39	82%
尾鈴地域	川南町	332	333	▲ 1	2.7	373	41	448	▲ 75	83%
	都農町	135	144	▲ 9	1.1	152	17	193	▲ 41	79%
延岡市	延岡市	825	782	43	6.7	927	102	1,062	▲ 135	87%
日向地域	日向市	339	367	▲ 28	2.8	381	42	479	▲ 98	80%
	門川町	136	146	▲ 10	1.1	153	17	190	▲ 37	80%
	美郷町	377	400	▲ 23	3.1	424	47	522	▲ 99	81%
	諸塚村	42	44	▲ 2	0.3	47	5	57	▲ 10	83%
	椎葉村	51	55	▲ 4	0.4	57	6	72	▲ 15	80%
西臼杵地域	高千穂町	365	399	▲ 34	3.0	410	45	512	▲ 101	80%
	日之影町	141	155	▲ 14	1.1	158	17	198	▲ 40	80%
	五ヶ瀬町	154	170	▲ 16	1.3	173	19	218	▲ 45	79%
県計		12,400	12,700	▲ 300	100.0	13,800	1,400	16,987	▲ 3,187	81%

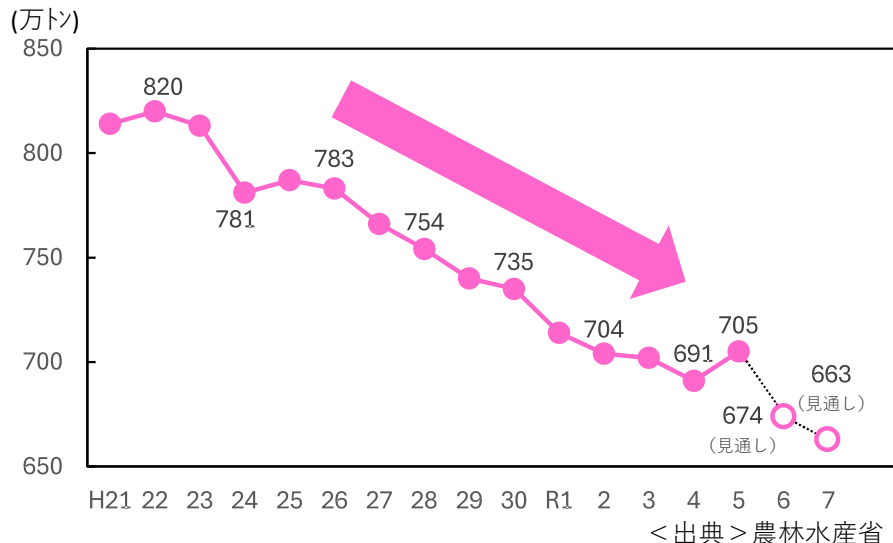
※ラウンドおよび都道府県調整分により合計は必ずしも一致しない

※作物統計調査(九州農政局:10月13日公表)を基本として、水田情報管理システムにより補完して作成(県農産園芸課調べ)

主食用米の需給情報提供 ～今後の見通し～

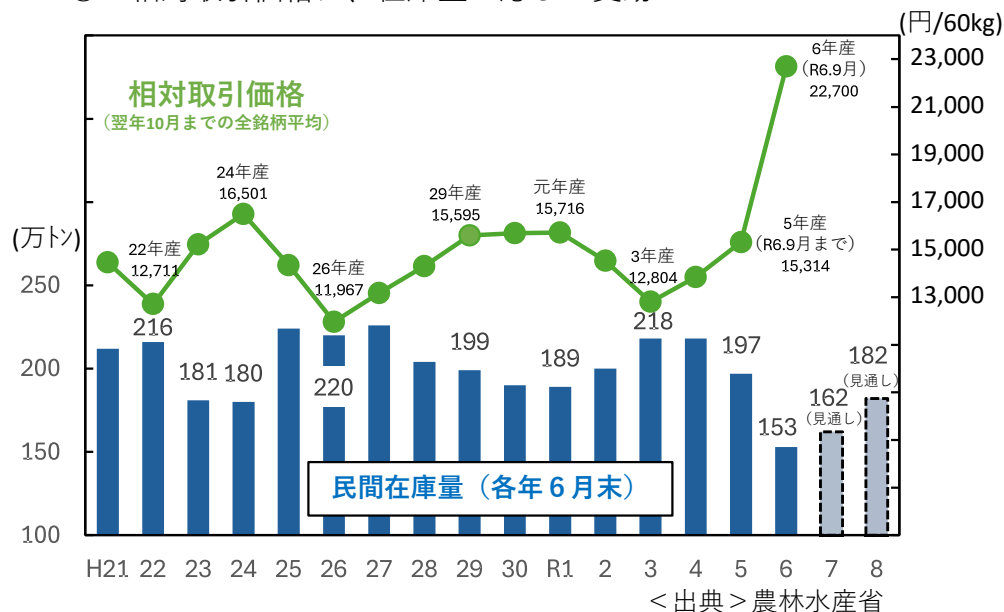
(1) 主食用米の需要量の推移【全国】

- 平成26年以降、年間約10万トンの需要量が減少
- 令和5年は、米の値ごろ感やインバウンド等の影響で需要量が増加



(2) 相対価格と民間在庫量【全国】

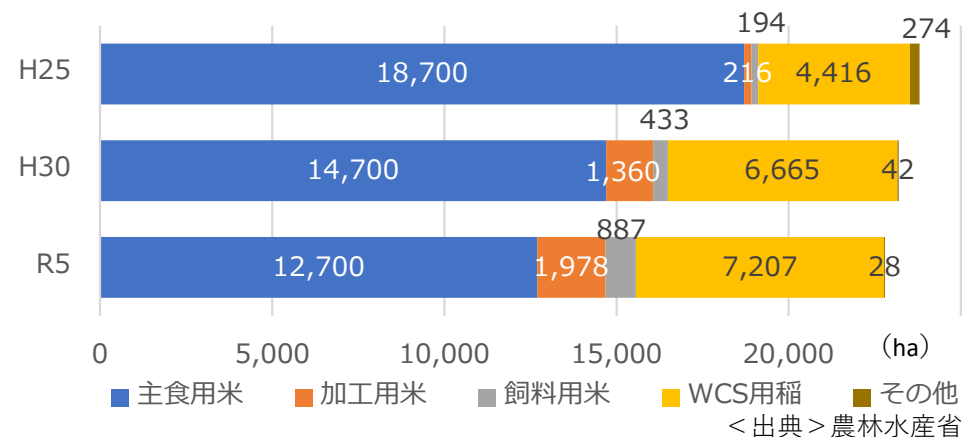
- 令和6年6月の在庫量が減少
- 相対取引価格は、在庫量に応じて変動



(3) 水稻生産の状況【本県】

① 用途別の水稻作付面積の推移

- 主食用米の面積は減少し、WCS用稲や加工用米は増加
- 用途別の需要に応じた、バランスのとれた生産を推進
- 県民が消費する主食用米の生産維持にも配慮



② 作付規模別の水稻作付面積の推移

- 1ha未満の作付規模層が一貫して減少。高齢農家のリタイア等により、減少が加速する見通し。
- 受け皿となる5ha以上の層の規模拡大を進め、大規模経営体(30ha以上)の育成を推進

